

今年度も基礎チャレンジに真剣に取り組みましょう。

5月14日（水）

今年度も青垣中学校では基礎チャレンジに取り組みます。朝の10分の時間を有効に使い、効率の良い学習を心がけて欲しいと思います。10分という時間は、学校においては業間の時間（休み時間）です。「10分で何ができるか？」と問われると、どう答えますか。50分の授業の中の10分というのはとても貴重な時間です。家庭学習において、10分という時間があればどんな学習が可能でしょうか。英語の単語ならどれくらい覚えられるでしょうか。



以前ある本で隙間時間を活用する3つのポイントが紹介されました。

まず1つ目は、「時間を発掘する」ことです。1日の生活の中にある自分の「隙間時間」を見つけることです。平日の自分のスケジュールを書き出し、隙間時間を見つけるのです。そうすることで、「？」がつく時間がたくさんあると思います。特に何もせずに、ぼーっとテレビを見たり、夕食後、勉強に取りかかるまでの時間など、無駄に過ごしていた時間を確認します。

2つ目は、「突然の隙間も活用」することです。電車・バスの待ち時間や行列に並んでいるときなど、突然やってくる隙間時間を活かすには、常に勉強できるものを持っていなければなりません。しかし、重たい参考書や問題集など、いつも持ち歩いているわけではないので、コンパクトな参考書やまとめのノートなどを常に携帯することです。

3つ目は、「時間を作り出す」ことです。忙しい生活中でも、何かを"しながら"できることや、まとめてできることがあれば、時間を作ることができます。例えばドライヤーで髪を乾かしながら英単語の暗記をするとか、お風呂で歴史の暗記をするとか・・・。最近は、風呂で濡れても問題ない参考書も販売されています。時間を上手に使える人、スケジュール管理ができる人は、大人になってから時間に振り回される生活にならないと思います。

○青垣中学校における学力向上取り組み



※学力向上委員会を中心に下記の事項に取り組み学力の向上を図る。

※学力向上委員会・・・校長、教頭、1年、2年、3年、兵庫型学習システムのメンバーで構成。

※学力向上に関わる取組の計画、立案、改善。

※生徒の見取り、課題の焦点化、取り組みの重点化（具現化プラン提出）

※学習における『青中スタイル』の実施

※基礎チャレンジの実施計画

※定期的に学力向上委員会を開き、現状を分析するとともに取り組みを重点化する。

※アンケートの実施、集約、分析・研修、授業研究会、授業参観週間の計画、運営

※各学年で学期ごとに研究授業を公開（3年1学期・2年2学期・1年3学期）

○日々の授業（青中スタイル）の確認事項

①見通しを持たせた単元の系統を生徒と共有（めあての確認と振り返りの充実）

②『学習の構え』をもとに学習規律のある安心して授業に集中できる環境づくり

③『話法』を活用し、普段の生活につながる話し手と聞き手の育成

④効果的な学び合いと生徒が発言する機会のある対話的な授業づくり

⑤子どものやる気を引き出す教師の『評価言』

⑥構造的な板書づくり

⑦タブレットPC等を活用した個別最適化の授業の充実



○基礎チャレンジについて

・家庭学習の習慣化…木曜日に予告 金曜日全校一斉小テスト 月曜日がんばりタイム。

・できる、やりきる、達成感のある小テスト…国語・数学・英語で実施し基礎基本問題を心がける。

・みんなでがんばろう、栄光の満点者をめざそうという学級の雰囲気づくり。

意見のつながりが安心した授業環境づくりにつながる。その意見をつなげる手助けになるのが話法。『話法』を大切にしながら、互いの意見を発言・交流できる対話的な授業を組み立て、自己有用感を高める。また、『話法』を教育活動の様々な面で取り入れ、自尊感情を高めていく。